

ようじえんだより 2019年度10月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

10月主題『楽しむ』

主題聖句：ほかの種は良い土地に落ち、芽生え、育って実を結ぶ
マルコによる福音書 4章8節

- ☆ 0～2歳児：保育者と一緒にさんびかを歌おうとする。這う、歩くなどの動作を楽しむ。言葉のやりとりが面白くなる。体を動かすことを楽しむ。
- ☆ 3～5歳児：神さまからいただいている賜物を活かす。遊びの中で工夫して創り出すことの楽しさを知る。遊びに熱中し、くりかえし取り組む中で、思いを伝え合う経験をする。音楽・ダンス・造形・ことば等で表出することや表現することを喜ぶ。

発表会が減っている！？

日曜日の朝9時から教会学校(CS)というのを行っています。短く礼拝して、その後礼拝堂後ろのCSのお部屋でゲームなどして10時には終了です。教会学校には十日町幼稚園の在園生・卒園生だけでなく、東京のキリスト教系の幼稚園に通っている子どもたちもたまに参加しています。そこで興味深いお話を聞いたのですが、東京のある幼稚園では発表会のようなものがほとんどないのだそうです。運動会もありますが、それも子どもだけで行っていて保護者は参加しないのだそうです。理由は「運動会が子どもにとって“評価される場”であってはならない」という考えがあるようです。

“評価される場”とは、「あの子は足が速い(遅い)。力が強い(弱い)。できる(できない)」という大人たちからの優劣で評価する目にさらされるということです。このような場は大変緊張を強いられるばかりでなく、苦痛となり、その割には幼児期の子どもたちの成長に資する場とも言えないことが近年の幼児教育研究でわかってきたことの一つです。むしろこの時期は、主体的に、意欲的に物事に取り組み、友だち

と協力して何かを成し遂げ、そこに喜びと自信を見出していくことが大切であることがわかってきました。だから子どもたちを行事(発表会)で追い立てるような、カリキュラムは全国的に行われなくなってきたといわれます。

親子の触れ合いの時間を十分に

十日町幼稚園は認可保育所ですから、ご両親ともに就労している方がほとんどです。普段子どもたちの様子を知りたいという思いや、何より子どもたちと触れ合う機会は必要でしょう。十日町幼稚園で、運動会が子どもたちだけで行われることは今後もないと思います。しかしせっかく「ファミリーデー」と銘打って行われるのですから、いわゆる競技会ではなく、親子で楽しむ場であるべきです。今年度のファミリーデーは年少以下のクラスの子どもたちは保護者の皆様と一緒に過ごします。年中・年長の子どもたちも保護者の方と過ごす時間が増えます。祖父母の皆様が参加する種目には子どもたちも一緒に参加する種目を用意しました。みんながファミリーとなって楽しめる時といたしましょう。 園長:久保田愛策

年間主題『ことばに満たされて～ひびきあう～』

主題聖句：その人は流れのほとりに植えられた木。
旧約聖書 詩編1編3節